

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 毎年、地域の行事(盆踊り大会、秋まつり、地域ふれあい文化祭等)に参加させていただいているが、入居者の重度化に伴い、年々外出も困難になっている。	運営推進会議等を通して、ホームの現状を継続してお知らせし、さらなる認知症への理解を求める。	①全員は無理でも地域の行事への参加を継続する。 ②『千寿便り』やチラシ等で見学会の開催をPRし、気軽に立ち寄っていただけるよう働きかける。 ③外出援助等のボランティアを導入し、協力を求める。	6ヶ月
2	33 (16)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 入居者の状態 医療法人ではあるが、常時医療的な処置が必要となると看取りまでの対応が難しい場合がある。他入居者に与える影響も大きい。	重度化・終末期への対応方針については、定期的にご本人やご家族と確認しながら、その時の状況に応じた望ましいケアの場を提供する。看取りを希望されるのであれば、主治医と相談しながら、受け入れ体制をしっかりと整える。	①重度化・終末期の対応について、日頃からご本人やご家族の意向を確認しておく。 ②医療機関との連携をこれまで以上に図り、状況に応じて適切なケアが出来るよう勉強会等の機会を増やしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。